

道しるべ



第53号

「お盆」

撮影：森 正廣 2018.7.22

これから、空港・駅は、お盆帰省で大混雑になります。

一年に一度のお盆、「先祖や亡くなった人たちの霊を祀る行事」
先祖や亡くなった人たちが、苦しむことなく成仏してくれるようにと
子孫が報恩や追善供養する。

そもそもどうしてお盆は八月ですか？

諸説あるようですが、昔、農家の方が先祖を祀る時、収穫のめどが立ち、
農作業が一段落する時期がこの八月・・・ のようです

まっ、いずれにしても、先祖を祀る気持ちはいつも心に持っておきたいものです。



今では、日本の風物詩となったこの帰省ラッシュ。

昔は、「藪入り」といわれたようです。年に二回実家に帰る(休む)ことが許された奉公人。

奉公人が田舎(藪)に入っていくような光景から、「藪入り」と名付けられました。

それに比べ今では、一年に四回の帰省ラッシュ、「ゴールデンウィーク」「お盆休み」

「シルバーウィーク」「年末年始」昔から比べると本当に休みが多くなりました。

これも、政府の言うところの「働き方改革」ですか？

帰省には、「郷里に帰る」と言う他に、

「元の場所に戻り、己を振り返りよく考える」とあります。

人は、この休みのとり方によって成長度合いが変わると言われています。

是非、身体は休ませて、頭はしっかりと鍛えていただきたいと思えます。



一日四回の食事をお勧めいたします、「朝の食事・昼の食事・夜の食事・活字」

「 身体は休養、栄養・頭は教養 」

平成30年8月

森 正廣



「さすが！」と言われる仕事をしよう

私達ドライバーは荷主様の代理人として荷主様のお客様である配送先様へ、ひとりで訪問しています。

その時、競合他社のドライバーと「運賃（＝仕事の結果）」だけで比較されるのではなく、

「料金（＝仕事の質と結果）」で比較される努力をしましょう。

誰しもが「同じ商品だったら安い方がよい」と考えることは普通のことです。

同じサービスでは運賃で比較されて、安い方が選ばれることは昔から変わらぬ世の常。

ドライバーへの信用とドライバーのプライドを仕事を通じて提供する

「仕事の質と結果」と一緒に高めましょう。

配送トラブルをゼロにするために「うっかりミス防止」するには“確認”を大切に。

その対象は商品だけでなく、お客様からお預かりした伝票も同じく大切に。

商品以外にも、お客様の資産であるパレットや備品も商品と同じく大切に。



競合他社がやっていることを、やらなかったらマイナスに評価されます。

競合他社がやっていないことを、すすんでやればプラス評価になります。

丁寧でスマートな仕事ぶりは誰にでもできる簡単なことであっても、

こだわれば価値が生まれて、やり続ければ価値が高まります。

プロドライバーのプライドとは「さすが！」と言われる仕事を提供することです。

しかしながら、時には荷待ち時間の増加や道路渋滞などにより、

あせりやイライラの心理状態に陥ることもあるでしょう。

そのような状態になっても、いつでもいつもの自分に戻せるよう、ひとりで自身の心理状態をコントロールできることも、プロドライバーの要件です。

なぜならドライバーは出発すれば“ひとりの世界”。

だから**車内や社外では誰も忠告をしてくれません。**

そして、**一瞬の判断ミス**で事故が起これば、一生を掛けて償う自己の責任が発生します。

品質だけでなく安全においても付加価値を提供しましょう。

「誰でも良い仕事」と思われたなら、誰しもが安い方を選びたくなることは否めません。

「運賃や時間を含めて無理を聞いてくれる」からではなく、

価値で選ばれて価値で稼げるプロドライバーを目指しましょう。

お客様から「モス物流プランニング“で”よい」ではなく



「モス物流プランニング“が”良い」と言われるために。